

か ど ひいらぎ

香童の柊

No. 27

壬生町立稲葉小学校 学校便り

平成30年3月2日

文責：校長 廣田 昌英

置き土産

2月下旬、6年生が校長室前の廊下を通して家庭科室へ移動しました。卒業まで1ヶ月を切ったこの時期、家庭科室で何するんだろ？卒業記念の調理実習かな？さては、お楽しみお別れパーティーでもやるのかな？それにしても家庭科室が妙に静かです。のぞいてみました。すると、みんなで縫い物をしています。しかも全員が白い布を縫ってるんです。「何を縫ってるの？」と聞いてみると、雑巾だそうです。さらに「なぜ、雑巾なの？」と聞いてみたら、「在校生に使ってもらえるように、プレゼントするんです。」と答えてくれました。やれやれ、私の想像力のなんと貧弱なことよ。まったく恥ずかしい限りです。卒業してもなお、稲葉小を助けてくれるんですね。6年生、ありがとう！在校生のみんな、ありがたく使わせていただこうね！ちなみに6年生の発案で、既にトイレトペーパーホルダーが完成しているそうです。

卒業記念作品

2月26～27日にかけて、田中先生、古郡先生、そしてボランティアの越谷様の指導のもと、6年生が書道に取り組みました。大きな紙にそれぞれが選んだ四文字熟語を、よ～くお手本を見ながら書き上げました。どこから見つけ出してきたのやら、なかなか難しい熟語を選んだ子も少なくありません。ところで、その20人分のお手本は越谷様が全て手書きで準備してくださったそうです。6年生、よ～く感謝してくださいね。

そしてできあがった作品は、卒業式の会場となる体育館の側面に掲示されるそうです。6年生の保護者の皆さん、楽しみにしていてくださいね。かなり迫力のある作品

に仕上がりましたよ。そして、たまたま通りがかった子が言いました。「あ、私の家にも2枚あるよ！」その子には2人の姉がいて、その作品が家に飾ってあるそうです。6年生の保護者の皆さん、超大型の額縁が必要になるかも知れません。

ガッシャーン！

給食後の後片付けのとき、ある子がスプーンが入った容器を落としてしまいました。床にはスプーンが散乱。でも、その子はビックリしちゃって立ったまま。すると、私のまわりにいた6年生達が「やっちゃった！」とつぶやいて走り寄り、あっという間に元の状態に。そして何事もなかったかのようにいつもの後片付けの風景に。しつこいかも知れないけど、稲葉の子はすごいんです。身の回りで起きることが他人事でなく、自分事なんです。いい伝統ですよ。全力で守っていききたい伝統です。

6年生を送る会

5年生が中心となって、6年生に対する「ありがとう」の心を込めて行われました。5年生、ホントによく頑張りました。私が5年生の教室に入ろうとしても「入っちゃダメ！」と、鉄のカーテンを張り巡らせて秘密特訓してきた成果が存分に発揮されました。分かりやすく楽しくて、手作り感満載の開会行事から始まって、楽しさと難しさが計算された各教室でのゲームの進行など、たいへん立派でした。きっと去年の5年生（つまり、今の6年生）がいいお手本になっているんでしょうね。これで6年生も安心して卒業できると思ってくれたでしょう。5年生の頑張る姿。もしかすると、これが一番の6年生へのプレゼントだったのかも知れません。